

サロゲート・マザー (1996)

SURROGATE MOTHER
FINAL VENDETTA [米]
SWEET EVIL

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本／アメリカ

時間 96分

初公開日 1996/05/18

公開情報 東映ビデオ

【解説】

松田聖子が本格的海外進出をめざして主演した、ハリウッドとの合同作品。代理出産にまつわる親権問題といった社会派ドラマではなく、たんなるサスペンス・ドラマである。不妊症に悩む日系アメリカ人キャスターのナオミ（松田）は、夫と相談の末、代理出産を決意する。代理母＝サロゲート・マザーにジェニーが選ばれたことから、周囲で不可解な事件が起こり始め、ナオミはジェニーに不信感を募らせる。やがてジェニーの身元が嘘だった事が解るが、妊娠してしまった彼女を前になす術もない。同居を始めたジェニーは横暴な態度に出て、夫妻を精神的に追い込んでいく。ついに彼女は、事故に見せかけて夫に大怪我を負わせてしまう……。

彼女の目的は一体何なのか？ 生半可な合作映画と違い、完全にアメリカ映画として作られていて、松田聖子は流暢に英語での演技をこなしている。だが、メジャー級作品と違って登場する人物が少なく、派手なエンタテインメントもストーリーのトリックも無いので、ジェニーの動機と作品の結末がどうなるのかといった興味以上のものが得られない。当然、聖子は主題歌も担当。尚、原作・脚本のクレジット上のトラブルがあり、公開後の各紙資料を含め監督・脚本のデータに混乱がみられたことを特に付記しておく。ビデオ・パッケージ同様、こちらが正解。

【クレジット】

監督	レネイ・アーロム	Rene Eram
製作	サイモン・ツェー	Simon Tse
企画	黒澤満	
製作総指揮	渡邊亮徳	
	ジョセフ・ウルフ	Joseph Wolf
	クリスチャン・ハルゼイ・ソロモン	Christian Halsey Solomon
原作	すずきじゅんいち	
原案	高瀬ハナ	
脚本	すずきじゅんいち	
	デヴィッド・ソロー	David Thoreau
撮影	テレサ・メディナ	Teresa Medina
美術	ジョディ・ジネバー	Jodi Ginnever
編集	アナマリア・スザント	Annamaria Szanto
音楽	キース・ビルダーベック	Keith Bilderbeck
録音	ジョン・エイルチャー	
出演	松田聖子	Seiko Matsuda
	ブリジット・ウィルソン	Bridgette Wilson

スコット・コーエン

Scott Cohen

ピーター・ボイル

Peter Boyle

ガイ・ボイド

Guy Boyd

スティーヴン・ギルボーン

Steven Gilborn

マーネット・パターソン

Marnette Patterson